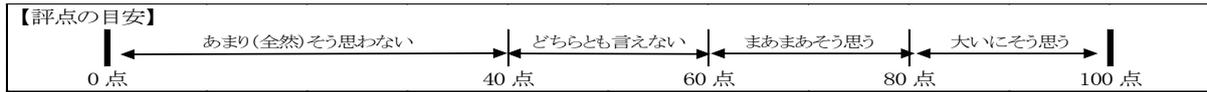
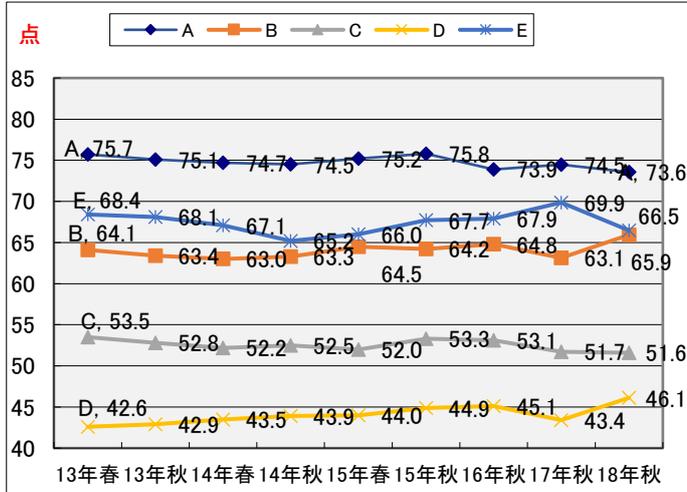


生活や食、環境、福祉に対する考え方

生活や食、環境、福祉、地域に対する意識を調査しています。自身の考えに合うかどうか、100点満点で任意の点数を記入してもらい、平均点を算出しました。(図52～57)



ア) 生活・くらし



- A. 家族の一体感や絆を深めることを第一に考えている
- B. 自分で自由に使える時間は、家で過ごすのが好きなほうだ
- C. 余暇は、家族サービスや旅行で過ごすことにしている
- D. 家族みんなが楽しむために、よく外食する
- E. 家計にゆとりがあった場合、消費するよりも貯金しておく

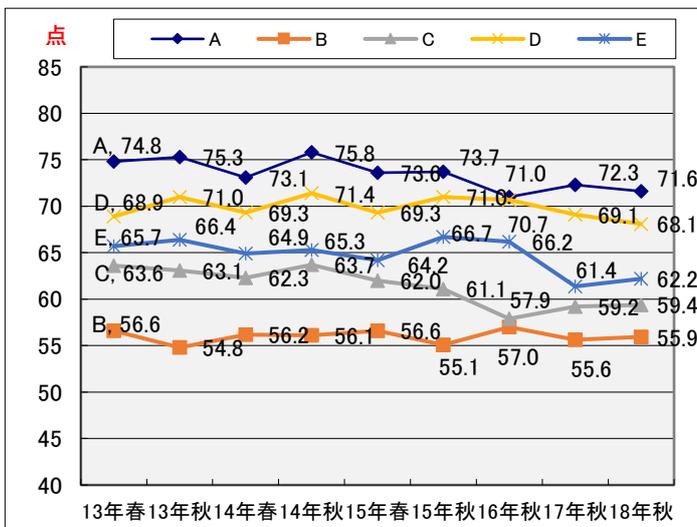
家族の一体感や絆が大切だと考える人が多く、「消費よりも貯蓄」の傾向が高いようです。自由な時間や余暇の過ごし方は年代で差があり、Bは45歳以上の年代が45歳未満の年代より高くなり、Cはその逆となります。

平均点	ア)A	ア)B	ア)C	ア)D	ア)E
全体	73.6	65.9	51.6	46.1	66.5

地域別平均点	ア)A	ア)B	ア)C	ア)D	ア)E
坂井地区	73.5	63.3	53.0	47.1	65.7
奥越地区	72.1	66.4	49.3	44.6	65.1
福井地区	75.2	67.2	54.7	49.7	66.6
丹南地区	73.7	65.3	48.9	45.7	65.3
敦賀地区	73.3	66.7	52.8	43.9	70.6
小浜地区	68.2	65.5	43.5	34.3	67.2

年代別平均点	ア)A	ア)B	ア)C	ア)D	ア)E
35歳未満	79.2	62.0	68.5	48.9	68.3
35歳～45歳未満	76.5	65.1	63.4	51.6	65.9
45歳～55歳未満	72.8	67.5	50.7	47.9	69.7
55歳～65歳未満	73.3	70.1	48.3	46.0	66.3
65歳以上	70.1	64.7	40.9	41.2	64.4

イ) 食の安全・農業問題



- A. 多少値段が高くても安全・安心な食品を購入する
- B. 家計のため低価格の食品を探して購入する
- C. 多少値段が高くても地産地消を大切にしている
- D. 輸入農産物は敬遠する
- E. 風評被害が心配だが、放射線量の高い産地の食品は手が出ない

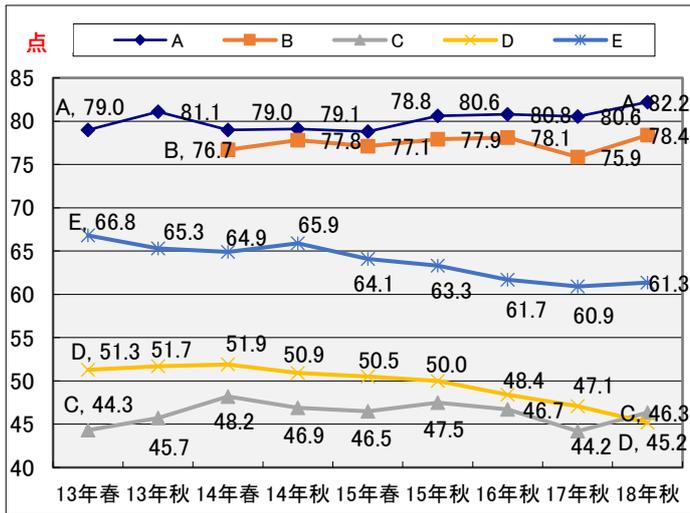
「安全・安心」が食品選択において最も重要であると考えられる人が多いことがわかります。シニア層でその傾向がより強く、また、「地産地消」については特に65歳以上が大切に考えているようです。若い年代では、低価格志向が強くなります。

平均点	イ)A	イ)B	イ)C	イ)D	イ)E
全体	71.6	55.9	59.4	68.1	62.2

地域別平均点	イ)A	イ)B	イ)C	イ)D	イ)E
坂井地区	69.3	53.2	59.2	65.2	57.5
奥越地区	68.7	54.5	57.6	64.4	62.3
福井地区	72.1	57.5	60.5	67.6	62.0
丹南地区	72.3	55.5	58.7	69.9	64.3
敦賀地区	74.5	56.2	59.6	68.5	59.8
小浜地区	70.1	56.4	57.8	71.5	68.1

年代別平均点	イ)A	イ)B	イ)C	イ)D	イ)E
35歳未満	69.9	60.0	51.5	60.0	58.6
35歳～45歳未満	70.7	59.8	56.1	68.0	61.2
45歳～55歳未満	68.2	58.4	58.6	68.8	62.9
55歳～65歳未満	70.9	53.1	58.1	71.4	61.3
65歳以上	75.2	52.9	65.8	69.1	64.6

ウ) 災害防止、環境問題



地域別平均点	ウ)A	ウ)B	ウ)C	ウ)D	ウ)E
坂井地区	80.6	73.8	46.9	47.0	60.9
奥越地区	78.4	79.8	46.7	46.1	61.6
福井地区	83.5	77.7	47.0	45.7	63.1
丹南地区	80.7	79.6	45.5	44.0	59.9
敦賀地区	85.5	82.6	47.9	43.6	60.1
小浜地区	83.1	76.8	43.1	45.3	60.0

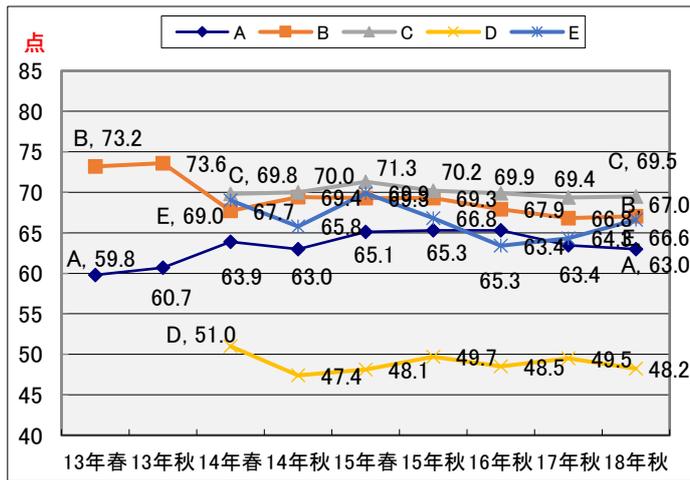
- A. 自然の脅威の前では人の力には限界があり、どうしようもない
- B. 国は、災害防止のための補強工事や情報提供を、もっと行うべきだ
- C. 我が家の災害に対する備えは十分である
- D. 災害ボランティア活動には積極的に参加したいと思う
- E. 少々不便でも、積極的に省エネに協力したい

「省エネ」と「災害ボランティアへの参加」に関しては、少しずつ、ほぼ毎年下がりに続いています。災害への備えについては、想定以上の自然災害が続き、なかなか充分だと自信が持てないようです。C、D、Eで、特に若い世代の点数の低さが目立ちます。

平均点	ウ)A	ウ)B	ウ)C	ウ)D	ウ)E
全体	82.2	78.4	46.3	45.2	61.3

年代別平均点	ウ)A	ウ)B	ウ)C	ウ)D	ウ)E
35歳未満	84.3	76.8	39.1	39.9	54.9
35歳～45歳未満	85.6	76.7	41.8	45.0	60.7
45歳～55歳未満	82.2	77.1	43.1	45.6	60.9
55歳～65歳未満	83.8	80.6	46.8	46.5	62.1
65歳以上	78.8	79.1	53.3	46.6	64.5

エ) エネルギー政策



地域別平均点	エ)A	エ)B	エ)C	エ)D	エ)E
坂井地区	59.1	67.6	69.0	41.9	66.1
奥越地区	62.6	65.1	67.9	52.7	66.9
福井地区	64.0	69.5	71.9	47.5	65.1
丹南地区	62.1	66.4	69.1	45.2	65.5
敦賀地区	64.2	63.2	65.8	55.4	70.9
小浜地区	66.5	65.3	68.5	54.2	69.4

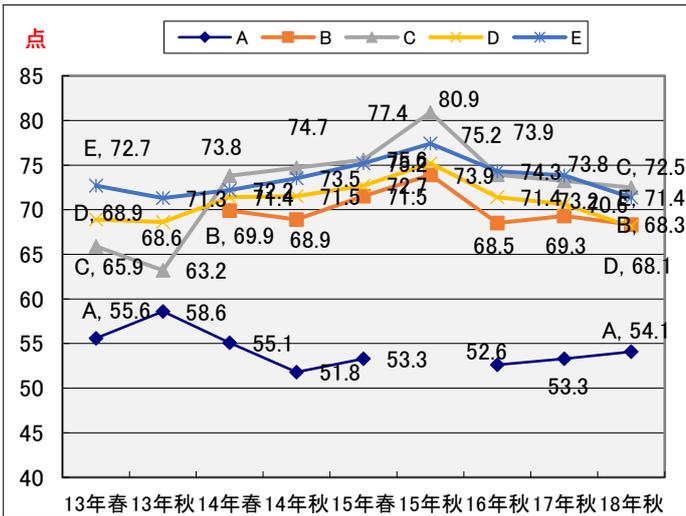
- A. 経済性を重視した、安定供給が可能なエネルギー政策を取るべきだ
- B. 多少の不便があっても、安全性を重視したりリスクの少ないエネルギー政策を取るべきだ
- C. 太陽光や風力、水力等、再生可能な自然エネルギーを主力とするべきだ
- D. 安全性を確保した上で、問題がなければ原発の再稼働は仕方がない
- E. 今の電気料金は、高いと思う

(A)「経済性重視」、(B)「安全性重視」、(C)「再生可能な自然エネルギー」の点数を比較すると、一番平均点が高いのは(C)です。(B)の点数は年々下がる傾向にあります。また、(B)では年齢が高いほど点数が高くなっています。(D)「原発の再稼働」への見方は慎重ですが、年齢差があり、年齢が若いほど点数が高い結果となりました。

平均点	エ)A	エ)B	エ)C	エ)D	エ)E
全体	63.0	67.0	69.5	48.2	66.6

年代別平均点	エ)A	エ)B	エ)C	エ)D	エ)E
35歳未満	64.3	61.3	66.0	56.7	70.0
35歳～45歳未満	63.4	64.7	68.6	50.1	69.3
45歳～55歳未満	64.1	65.0	68.3	49.3	65.4
55歳～65歳未満	60.9	67.2	69.3	47.9	65.1
65歳以上	63.0	72.0	72.6	42.7	65.5

オ) 福祉・税金



- A. 将来の社会福祉政策の充実のために、税負担が重くなっても仕方がない
- B. 国は、収入による格差を減らすよう、公平な税負担を求めべきだ
- C. これ以上の税負担は耐えられない
- D. もっと、高齢化対策(年金制度等)の充実を図る必要がある
- E. もっと、少子化対策(育児支援制度等)の充実を図る必要がある

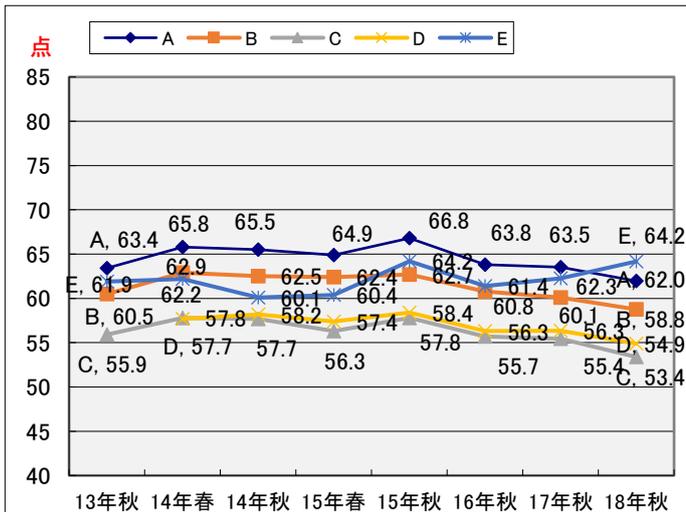
(C)「これ以上の税負担は耐えられない」の点数が一番高くなっています。これも今までと同じで、他にも大きな変化は見られません。年代別に見たとき、若い世代とシニア世代の点差が比較的大きいのは(B)「公平な税負担」、(D)「高齢化対策の充実」です。シニア層の方が、税負担に関して不公平感をより多くもっています。

地域別平均点	オ)A	オ)B	オ)C	オ)D	オ)E
坂井地区	52.3	69.0	71.2	65.4	69.2
奥越地区	53.3	66.9	74.5	66.7	65.8
福井地区	55.4	66.8	70.8	66.7	71.8
丹南地区	54.5	69.2	73.8	68.7	73.0
敦賀地区	53.6	67.9	73.5	70.6	72.2
小浜地区	51.5	73.9	73.3	73.5	72.0

平均点	オ)A	オ)B	オ)C	オ)D	オ)E
全体	54.1	68.3	72.5	68.1	71.4

年代別平均点	オ)A	オ)B	オ)C	オ)D	オ)E
35歳未満	50.9	61.5	74.1	61.2	78.2
35歳～45歳未満	54.2	67.1	72.5	65.1	71.0
45歳～55歳未満	55.0	69.2	73.6	67.2	65.8
55歳～65歳未満	55.9	70.5	70.4	70.3	69.5
65歳以上	53.9	70.1	72.3	71.4	72.7

カ) 地域



- A. 自治会、社会奉仕、避難訓練等地域の行事には積極的に参加していきたい
- B. 地域の公民館や集会場、公園を、積極的に利用していきたい
- C. 地域の子供会や青年会、婦人会、老人会等に参加していきたい
- D. 自分の地域を良くするために、もっと、地域づくりやまちづくりに参加していきたい
- E. 自治会やPTA等地域の役員は、したくない

あまり変化はなく、全ての項目において平均点は50点台～60点台です。地域での活動については、行事への参加はほどほどに参加する気持ちはあるが(A)、子供会や青年会といった組織での活動、また役員を務めることに負担を感じているようです。(C、E)

地域別平均点	カ)A	カ)B	カ)C	カ)D	カ)E
坂井地区	62.6	60.4	55.0	56.5	64.0
奥越地区	63.7	60.3	55.9	57.0	63.1
福井地区	63.9	60.4	53.7	55.7	63.9
丹南地区	61.4	58.1	53.1	54.7	64.1
敦賀地区	59.0	54.9	50.4	51.8	66.0
小浜地区	57.3	55.5	53.0	52.0	64.5

平均点	カ)A	カ)B	カ)C	カ)D	カ)E
全体	62.0	58.8	53.4	54.9	64.2

年代別平均点	カ)A	カ)B	カ)C	カ)D	カ)E
35歳未満	55.9	59.0	51.3	50.6	70.6
35歳～45歳未満	58.3	60.1	52.4	53.3	63.7
45歳～55歳未満	60.0	53.2	48.7	51.2	64.5
55歳～65歳未満	62.8	57.5	52.5	56.3	63.6
65歳以上	67.0	62.2	58.2	58.8	61.5